

記入例

申請年月日

年 月 日

茨城町教育委員会教育長 宛

申請者 住所 “申請者の住所”

氏名 “保護者の氏名”

連絡先 “保護者の電話番号”

同居する家族または
生計を一にする家族全員

茨城町就学援助認定申請書兼世帯票

就学援助を受けたいので、茨城町就学援助事務取扱要綱第6条第1項の規定により、下記のとおり申請いたします。

記

家族の状況	氏名	続柄	年齢	生年月日	同居の別	職業(勤務先) 学校名・新学年
	世帯全員	茨城 太郎	父	46	S54.11.13	同
茨城 花子		母	44	S56.5.26	同	“勤務先名”
茨城 一郎		長男	14	H23.7.21	同	〇〇中3年
茨城 次郎		次男	6	R1.9.10	同	〇〇小1年
茨城 和男		祖父	75	S25.6.28	同	
家計内容 全員分	総収入額(賞与・諸手当含む。)		年額(税込)		円	住宅の形態 持ち家 自・親・その他 借家 名称() 家賃(/月) ※管理を含む。 その他()
	自営所得(商業・農業等)		年額(税込)		円	
	年金()		年額(税込)		円	
	児童手当		年額		円	
	養育費		年額		円	
	その他(児童扶養手当)		年額		円	
合計		年額		円		
認定申請の事由 (家庭状況等)	<p>例 〇〇〇により、収入が減少し、生活が苦しく、就学援助を受給したい。 ※ <u>次項の記入例を参考に詳細に記入してください。</u></p>					
	生活保護該当の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無			教育扶助受給の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 生活扶助受給の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無		
教育委員会 使用欄						

年齢は
R8.4.1の年
齢で記入
(年度途中
の申請でも
R8.4.1時点
の年齢)

R8年度の
学年を
記入

住居の状
況につい
て記入

養育費のみ
記入
令和8年度
中に受け取
る見込みの
総額を記入

生活保護、
生活扶助の
受給状況に
ついて
レ点を記入

認定申請の事由（記入例）

(1) 前年（令和7年1月から令和7年12月）の収入・所得等の合計額が認定基準額内の世帯

- ・両親がおらず、祖父母が子供の面倒を見ている。祖父母の年金収入だけでは、生活費を支出するのが精一杯で、学校費用まで支払うことが困難であるため、就学援助費を受給したい。
- ・両親とも働いているが、子どもの人数が多く家計が苦しいため、就学援助費を受給したい。

(2) 自己都合退職、離婚等の家庭環境の変化等により

令和8年中の収入・所得等（見込）が前年より減少した世帯（家計急変世帯）

※令和8年中に収入・所得等が減少した経緯と現在の世帯状況等を詳細に記入してください。

- ・令和8年〇月に離婚し、主に生計を維持していた父親と別に生活することとなった。母親は、離婚後に働くようになったが、子どもの下校時間までしか働けないため、収入がなかなか安定しない。養育費や児童扶養手当を受給しているが、生活が苦しいため、就学援助費を受給したい。
- ・父親が病気になり、働くことができなくなった。母親の収入だけでは、生活が苦しく、医療費の負担も大きいため、就学援助費を受給したい。
- ・父親・母親の勤務先が休業となり、収入が減少した。そのため、家計が急変し、生活が苦しく、学校費用の支払いが困難であるため就学援助を受給したい。
- ・元々、生活に余裕がない中、どうにかやってきたが、収入が以前よりも減少し、生活がより苦しくなった。就学援助費を受給して、生活を立て直したいため。

上記の例を参考に、就学援助の受給が必要な理由を具体的に記載してください。